



久慈市が目指す「将来像」を示す計画です

総合計画
って何?

久慈市総合計画は、まちづくりの理念や、市が目指す将来像を示す最も重要な計画です。市が行う事業も、この計画の方向性に基づいて進めることになります。

期間は平成18年度から27年度までの10年間で、「基本構想」、「基本計画」の2つで構成されています。(下図)

平成22年度は10年間の折り返し地点。今回お知らせするのは、後期5年の方針を定めた「後期基本計画」の内容です。



みんなの力で
進めよう!

未来のましまちらびらび

市総合計画・後期基本計画を策定します

新市誕生から5年。
まちの将来像を定めた
久慈市総合計画(10力年)
の折り返し地点です。
市は今後5年の方針を定めた
「後期基本計画」を策定します。
連携と協働を重視した内容です。
皆さん、未来に向けたまぢづくりを
一緒に進めていきましょう。(5歳まで)
園政策推進課 ☎52-2115



みんなで進もう!



右から、澤山柚稀くん、大城祥汰くん、古屋敷琴乃さん、播磨香鈴さん。新久慈市1年目に平山小に入学した4人も今は5年生です。大きく成長できる5年の月日。まちも発展を目指し突き進みます!

「輝くまち」が柱

新久慈市が誕生した平成18年、市は新たなまぢづくりを進めていくために、市民の皆さんの意見を聞きながら長期的視点で検討を重ね、「久慈市総合計画(左枠)」を策定。大黒柱となる基本構想「夢・希望・未来に向かってひと輝くまち」の実現を目指して取り組みを進めてきました。総合計画の策定期間は、平成18年度から27年度までの10年間。施策の方向や分野ごとの取り組みを定める「基本計画」は前期5年間と後期5年間に分けて策定することにな

最良を探って協議

平成18年度から本年度までの5年間は、前期基本計画に基づき、やませ土風館などを整備する街なか再生推進事業、学校給食センター改築事業、市営住宅てらさと団地整備事業などを実施しました。

市は昨年6月、後期基本計画の策定に向けて、市民の皆さんの意見を聞くために市民満足度アンケートを実施。8月には委員16人で構成する後期基本計画策定検討委員会(会長・細田稔男市観光物産協会会長)を設置しました。各委員は5回の委員会で計画内容を協議。市政課題の解決に向けた最良な方向性を、市とともに探ってきました。本年1月19日には同委員会の細田会長と西美代子副会長が市役所を訪れ、山内隆文市長に「各施策を着実に進めるには行政と市民とのかわりが必要だと考えます。計画にも積極的な協働・連携を盛り込みました」と検討結果を報告。市は、最終調整をして今

連携と改革を追加

後5年間の指針となる後期基本計画をまとめ上げました。



山内市長に計画案を手渡す細田会長(右)。中央は西副会長

後期基本計画は、8つの基本方針で構成されています。前期から引き継いだ福祉や教育、産業など、取り組み分野ごとの6つの方針に、⑦まちづくりのための連携(再掲)と、⑧まちづくりのための市政改革の2つを新たに追加しました。
⑦の連携は、「行政組織の縦割り意識を変え、横の連携を強めるべき」、「行政だけでは達成が困難な取り組みが多くなるので、市民や各種団体との協働を進めるべき」などの検討委員会が出された意見を反映したものです。協働と連携

まちの未来一緒に

をさらに進めていくという市の姿勢を表しました。
⑧の市政改革は、これまで別に策定していた「市政改革プログラム」を総合計画と一本化して、財政の健全化や業務改善に取り組んでいくために追加しました。
このほか基本方針の達成状況を客観的に示すため、73項目の指標を新たに設定。数値は毎年公表し、取り組みの内容を見直ししながら、各種事業を進めていきます。

本年度は前期5年を終える折り返し地点。後期基本計画は、より輝くまちの実現を目指すための指針です。
市の職員も意識改革に努め、担当部署に限らず連携し各種事業に一層力を入れていきます。しかし、まぢづくりの主役は行政ではなく、このまちの皆さんです。皆さんと協力して取り組めば、もっと住みやすいまちになるはず。皆さん、輝く未来に向けたまぢづくりを一緒に進めていきましょう。

この8つ！



このページでは、後期基本計画の8つの基本方針ごとに、主な内容をお知らせします。平成23年度から27年度までの後期5年間で予定される主要事業は約200事業。前期

から継続して行うもののほか、新たに15事業を実施予定です。※主な新規事業は次のとおり
●介護サービス施設等整備事業：認知症高齢者グループホームなどの整備

●法定外予防接種事業：小児用肺炎球菌、子宮頸がんなどのワクチン接種費用助成
●国体開催推進事業：平成28年開催予定の岩手国体開催準備など

1 市民との積極的な協働を進めるまちづくり

主な内容
 市民と行政が共通の目標を持ち、力を合わせてまちづくりを進めるため、積極的な市民参加を促進します。

主な事業
 ○広聴広報事業
 ○市民協働道路維持補修事業
 ○男女共同参画推進事業
 ○地域コミュニティ振興事業
 ○体験型教育旅行受入事業

主な指標
 □市と市民が協働する取り組みの件数
 H21基準70件→H27目標177件
 □審議会などの女性委員登用率
 H21基準32%→H27目標35%
 □地域コミュニティ振興事業の件数
 H21基準39件→H27目標45件

3 創造性豊かな人材を育てるまちづくり

主な内容
 次代を担う子どもたちと子育て家庭を支援。また学び考える力の育成と計画的な学校施設整備を進めます。

主な事業
 ○子育て支援センター事業
 ○中高生海外派遣事業
 ○久慈小学校改築事業
 ○乳幼児・小学生等医療費給付事業
 ○国体開催推進事業

主な指標
 □延長保育実施率
 H21基準61.1%→H27目標72.2%
 □社会教育施設・文化施設の利用率
 H21基準265,447人→H27目標278,987人
 □スポーツ団体の加入者数
 H21基準4,633人→H27目標4,975人

5 地域資源を生かし、にぎわいを創出するまちづくり

主な内容
 農林漁業の振興と、地産地消を推進。観光振興を図りながら、商店街の活性化と雇用の創出に努めます。

主な事業
 ○いわて未来農業確立総合支援事業
 ○森林整備事業
 ○漁業集落排水事業
 ○雇用対策推進事業
 ○観光施設整備事業

主な指標
 □農産物系統販売額
 H21基準23億6,283万円→
 H27目標27億1,486万円
 □教育旅行・キャンプなどの受入人数
 H21基準 6,447人→
 H27目標10,000人

7 まちづくりのための連携(再掲)

主な内容
 各施策を進め、「夢・希望・未来に向かって、ひと輝くまち」を実現するためには「連携」がとても重要です。事業を担当する市役所の各部署も連携を強め、横断的に取り組みを進めます。
 また目標は行政の取り組みだけでは実現できません。市は町内会やボランティア団体などの協働を進めていきます。

2 地域みんなで支え合うまちづくり

主な内容
 住民・行政などが協働して人と人の支え合いを推進し、安心して暮らせる福祉社会の実現を目指します。

主な事業
 ○災害時要援護者支援事業
 ○ふれあいサロン事業
 ○介護予防事業
 ○国保診療所医療機器整備事業
 ○法定外予防接種事業

主な指標
 □地域での福祉コミュニティ組織率
 H21基準19%→H27目標100%
 □肥満傾向児童の出現率
 H21基準18.4%→H27目標15%
 □ふれあいサロンの実施割合
 H21基準50%→H27目標80%

4 自然・地域を守るまちづくり

主な内容
 市の花・鳥・木や豊かな自然を活用したまちづくりを推進し、市民の一体感と自然景観の保全に努めます。

主な事業
 ○家庭用生ごみ処理機購入補助事業
 ○環境保全対策事業
 ○消費生活センター事業
 ○路線バス運行事業
 ○災害対策事業

主な指標
 □水質関係の環境基準達成割合
 H21基準87.1%→H27目標100%
 □市民1人当たりの家庭ごみ排出量
 H21基準255 kg /年→H27目標229 kg /年
 □自主防災組織の組織率
 H21基準25.7%→H27目標50%

6 安全・快適なまちづくり

主な内容
 道路や港湾のほか、下水道など生活環境基盤の整備を促進。携帯電話通話エリアの拡大などにも努めます。

主な事業
 ○市道整備事業
 ○久慈湾総合開発推進事業
 ○公園施設改修事業
 ○公共下水道整備事業
 ○携帯電話不感地域解消事業

主な指標
 □改良済みの市道延長
 H21基準399.4 km →H27目標408.4 km
 □久慈港の輸移出入貨物量
 H21基準172,326 t →H27目標280,000 t
 □水洗化人口割合
 H21基準30.3%→H27目標39.8%

8 まちづくりのための市政改革

主な内容
 市民満足度を高められるよう、職員の意識改革をはじめ、業務の改善や効率化など市政改革を進めます。

主な指標
 □経常収支比率
 H21基準84.3%→H27目標80%以下
 ※市が毎年続けて支払うお金を、毎年続けて入ってくるお金で割った数値。80%以上だと財政は苦しいといわれています
 □実質公債費比率
 H21基準16%→H27目標18%未満
 ※毎年続けて入ってくるお金のうち、借金返済に使ったお金の割合を示すもので、過去3年間の平均値。18%以上だとお金を自由に借りられなくなります

市の花・鳥・木を制定

市制施行5周年を記念して、市の花・鳥・木を次のとおり制定しました。これらは昨年実施した市民満足度アンケート調査の結果などをふまえ、選定したものです。



花 つつじ
 市内の山野いたるところに自生。色鮮やかな花を咲かせ親しまれています



鳥 うぐいす
 市内の山野に生息。早春から夏遅くまで、美しい鳴き声を奏でます



木 しらかば
 市内の高原・山地に自生。平庭高原の見事な白樺林は日本一とも評されます

相談体制ぐぐっと充実！

消費者を守る拠点 3.25^金開設

多様化・複雑化する消費者トラブルに対応するため
3月25日、消費生活センターを市役所東側に開設
します。開設に合わせて相談体制もぐぐっと充実。
悪質商法や多重債務などの消費者トラブルでお困
りの方など、どうぞ気軽にご利用ください。

☎生活環境課 ☎54-8003

久慈広域の消費者
の安全を守る施設
が誕生します。ぜひ
ご利用ください！



トラブル年々複雑化

社会の高度情報化や景気の低迷に伴い、消費者を取り巻く環境は大きく変化しています。インターネットを利用して買い物ができるようになるなど生活が便利になった反面、消費者トラブルは多様化・複雑化し、多重債務の問題も年々大きくなっています。

この問題に対応するため、国は貸金業法などの法改正に着手。平成21年9月には消費者庁を設置し、同時に「市町村が主体となって消費生活相談を行う」ことなどを定めた消費者安全法を施行しました。

開設で市の体制充実

市は消費者トラブルの予防・解決に向けた取り組みをさ



平成21年度から始めた消費者力アップ講習会。本年度は40人がトラブル解決法などを学びました

【消費生活出前講座】

町内会などの団体や学校に無料で講師を派遣し、悪質商法の手口や問題の解決方法などをお教えします。希望の日時や内容をお知らせください。

【消費生活講座】

久慈広域の住民を対象に、講習会を開催。一定の回数以上受講した方には、消費生活問題リーダー証を交付します。

久慈広域も担う拠点

消費者の生活と安全を守る拠点施設。県北広域振興局に設置されている消費生活相談窓口は3月いっぱいまで廃止され、4月からは同センターが「久慈広域消費生活センター」の役割も担います。

悩みの解消や、トラブルを解決するには、早めの相談が肝心です。皆さんどうぞ気軽にご利用ください。

らに強化するため、3月25日

(金)から「消費生活センター(下記を参照)」を開設します。

これまでも専門知識のある相談員1人を配置して講習会なども開いてきましたが、4月以降は相談員を増員し、より充実した体制で取り組みを進めます。センターの主な事業内容は次のとおりです。

①相談・苦情処理

相談や苦情に対応します。例えば次のことや家計のことでも結構です。困ったときは、すぐにご相談ください。

- ・商品やサービスへの苦情
- ・契約や取り引きで困った
- ・身に覚えのない請求がきた
- ・営業の電話勧誘がしつこい
- ・借金が返済できない

②情報収集と発信

消費生活に関する情報を集め、皆さんにお知らせします。市内で起きた身近な事例などは貴重な情報源です。契約や取り引きであやしいと思われる事例がありましたら、ぜひセンターにお寄せください。

③出前講座や講習会

消費者トラブルを予防し、被害を少なくするために次の事業を行います。

利用案内

【相談の受付時間】

平日
9時～16時

【問い合わせ先】

☎54-8004

※3月25日以降の問い合わせ先です。3月24日までは、生活環境課 ☎54-8003にお問い合わせください

【施設 DATA】

住所 久慈市川崎町1-1
(市役所に隣接・東口)

設備 相談室3室、待合スペース、事務室を完備

事業費 3,540万円

構造 鉄骨造平屋建

面積 建築140.69㎡
延床134.69㎡

トラブル解決の力になります！

消費生活センター

市役所東口に隣接するセンター。3月25日の開設に向けて、現在は内装工事中です



商品もあつて！

お金の相談も！

お金の相談も！

お金の相談も！

お金の相談も！



三浦七海 さん・久慈小6年 雪辱で県優勝

2月20日、盛岡市で開かれた第33回県スポーツ少年団柔道大会・女子個人戦で、三船十段記念館柔道スポ少の三浦七海さん（久慈小6年）が優勝。決勝戦では、これまで2戦2敗の相手に雪辱を果たし、栄冠を勝ち取りました。

三浦さんは「小学校最後の大会で優勝できて本当にうれしい！ 中学校でも練習も自主トレも頑張っていて、1年生で全国大会に行きたいです！」と笑顔。早速、中学での目標を掲げ、意欲を燃やしていました。



繋小の優しさに親切実行章

繋小学校（菊池育子校長・児童4人）は3月7日、小さな親切運動県本部（高橋真裕岩手銀行頭取）から小さな親切実行章を受章しました。児童は自分たちで作った野菜などを販売した売り上げで、1月に特別養護老人ホーム愛山荘に車いすを寄贈。優しい心と行動が評価されました。

受章 小さな親切実行章



商店街活性化の成果を報告

魅力アップの効果は大



成果報告

左ノ一誠堂・斎藤豊代表

レイアウト変更や社内連絡の徹底化などを実施。やるべきことを継続的にできる店に変わりました。

中ノ産直まちなか・小田邦夫さん

季節感の演出や鮮度管理などを充実。お客さんからの評判も上々。これからも取り組みを続けます。

右ノ山海里（運営元 街の駅・久慈）馬内義紀さん

ランチや新商品の開発、接客向上を実施。今後も取り組みを続け、販売増につなげていきたいです。

成功店モデル創出波及事業 ウルトラD久慈2010（久慈商工会議所主催）の成果報告会は2月25日、同会議所で開かれました。 ウルトラDとは「最高の（ウルトラ）商売の醍醐味（D）を満喫しよう」という意味。事業2年目の今回は3店が手を上げ、8月から半年間、中小企業診断士の高橋幸司氏の

指導の下、店の魅力と売り上げアップに取り組みました。事業効果は大きく、期間中は売り上げ、客数、客単価ともにアップ。報告会に出席した20人は、各店の取り組み内容に聞き入っていました。高橋氏も講演し「やりたいことを強く意識し、丁寧に取り組むことが大事」と商店街活性化にエールを送りました。



久慈北道路の用地補償説明会を開催

早期着工に向け調整進む



夏井町を中心に22人が出席した2月17日の説明会

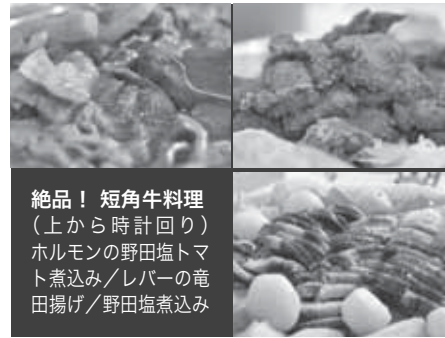
八戸・久慈自動車道「久慈北道路」の用地補償に関する説明会は、2月17日に高砂公民館、18日に侍浜公民館で開かれました。 17日の説明会には、夏井町を中心に22人が出席。はじめに、三陸国道事務所の若山敦用地第一課長が「早めに開通

できるように努力していきます。ただ土地所有者など、皆さんの協力がなければ始まりません。どうか事業へのご理解をお願いします」とあいさつしました。 続いて同事務所の担当者が土地価格の決め方や、物件の補償、税金控除などの補償内容を説明。終了後も出席者から個別に相談を受けるなど、工事の早期着工に向けて調整を進めていました。 夏井町鳥谷から侍浜町桑畑までを結ぶ久慈北道路（7.4km）は、平成21年3月に国土交通省の事業に採択されて以降、順調に調査などが進められてきました。現在は用地取得の事務が進められており、早ければ来年度からの工事着工が期待されます。



山形村短角牛を味わう会2011を開催

特産の魅力味わい大絶賛



絶品！短角牛料理（上から時計回り）ホルモンの野田塩トマト煮込み/レバーの竜田揚げ/野田塩煮込み



短角牛振興の願いを込める木藤古所長

久慈市特産の短角牛のおいしさをPRする「山形村短角牛を味わう会2011」は2月19日、市内催事場で開催。初の試みながら反響は大きく、当初の定員を上回る170人が参加しました。 はじめに、主催者を代表して、総合農舎山形村の木藤古修一所長が「短角牛の魅力を知ってファンになってほしいです。食べることで短角牛を応援してもらえれば」と願いを込めてあいさつ。乾杯の後、絶品ぞろいの会食がスタートしました。

テーブルに並んだのは、山形ファンで料理研究家の井上穹子氏、東京都の日本料理店「山藤」総料理長の梅田鉄哉氏、レストラン東急元総料理長の犬塚義夫氏が監修した短角牛と野田塩を使った創作料理など約10品。ステーキの鉄板焼きコーナーも設けられ、参加者は存分に短角牛の魅力を楽しみました。 会社の同僚と11人で参加した西祐太さん（湊町）は「最高です！ 普段なかなか食べることがないので良い機会。どの料理もおいしいですね。これからはもっと短角牛を食べたいです」と大絶賛していました。



大盛況！ われ先にと料理に手を伸ばす参加者



山形・繋・日野沢小がまとめの交流学習

統合に向け 机並べて勉強励む



作文を発表した七緒ちゃん（右）に質問する柊花ちゃん

本年度で閉校を迎える繋小学校（菊池育子校長・児童4人）、日野沢小学校（田中淳校長・児童6人）と、統合先の山形小学校（佐々木政文校長・児童34人）の3校交流学習は2月23日、山形小で開かれました。 本年度3回目、まとめとなる今回は、単式で授業を実施。児童は学年ごとに分かれ、レクリエーションで交流した後、机を並べて算数や国語の勉強に励みました。 1年生は、日野沢小の皆川柊花ちゃんを加えて7人で勉強。学校行事などの思い出をつづった作文をみんなで発表しました。



約30人が出席した保護者説明会

スキー大会に出場した感想を発表した柊花ちゃんは「みんなと勉強できて楽しかったです。上手に発表もできました。みんなの作文も聞けて良かったです」と笑顔。角館七緒ちゃん（山形小）は「柊花ちゃんと一緒に、レクで宝探しもできて楽しかったです」と喜んでいました。 授業終了後は3校の保護者を対象とした説明会が開かれ、4月以降の学校生活やスクーリング、学用品などについて、山形小学校から説明されました。 準備が進む統合と、間近に迫る閉校。日野沢小の閉校記念式典は3月20日（日）10時から同校で、繋小の閉校記念式典は27日（日）10時から同校で開かれます。